

平成17年9月2日
(財) 2005年日本国際博覧会協会
地球市民村事務局

秋風とともに、おいしい「お茶」で交流を深めます

地球市民村

9月の『お茶応援団』の活動について

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、これまでに引き続き9月もさまざまな「お茶応援団」の活動を展開してまいります。最終月ということもあり、これまでお世話になった世界各国のスタッフの方々と「お茶」をテーマに交流する場を設けたり、熊本からは「鹿北茶山唄」を披露するために保存会のメンバーが駆けつけてくれたり、さらには恒例の「お茶まつり」も開催するなど、多彩な催し物を実施いたします。

■ 来場者へのお茶のサービスについて

ー9月1日～25日まで毎日、お茶のサービスを行います。

ーサービス時間：10：30～16：30 場所：アジア茶堂

9月1日～11日までは熊本のお茶を、12日から25日までは愛知と静岡のお茶をサービスいたします。

また、24日と25日には、アジア茶堂と和の茶堂を中心に、地球市民村の各所で大勢の「お茶応援団」がフル稼働して、多くの来場者にお茶を振舞う予定です。

■ 「鹿北茶山唄(かほくさやまうた)」の披露

日程：9月3日（土）

時間：第1回 12:00～ 第2回 15:00～

出演：鹿北茶山唄保存会の皆さん

会場：アジア茶房および茶畑周辺

内容：熊本県の旧鹿北地区に伝わる「お茶摘み」の唄と踊りをご披露いただきます。

明治中期にロシアからこの地に伝わったお茶。この唄は、茶摘みという朝から晩まで繰り返される仕事のときに歌われた「労働歌」としてはじまりました。尺八の音色と共に歌われる「茶山唄」は民謡調で、情緒と味わいの深さが特色です。また、三味線や太鼓も加わった「唄と踊り」も今回ご披露いただきます。80歳代から30歳代まで幅広い世代の保存会メンバーのパフォーマンスにご期待ください。

■「9月 地球市民村 お茶まつり」～茶畑で秋冷茶を摘もう～

日時：2005年9月17日（土）、18日（日）

実施場所：地球市民村（大地の広場、茶畑、アジア茶堂、和の茶堂）

（1）「秋冷茶摘み」とかんたん製茶・番茶づくり体験

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：第1回 11:00～13:00

第2回 14:00～16:00

場所：茶畑、お茶まつり特設テント

内容：地球市民村内の茶畑での最後の「秋冷茶摘み」を行います。摘みたて茶葉でその場でつくるかんたん製茶体験や古くから日本の生活に密着した番茶づくり体験も行います。お茶博士によるお茶のレクチャーも予定しています。
（各回先着、定員あり）

※9月16日はこれまでお茶まつりに協力していただいた海外パビリオンのスタッフと関係者を招待し、地球市民村での日本のお茶摘みを体験していただきます。

（2）秋冷茶手揉み体験

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：11:00～17:00

場所：手揉み体験特設テント（和の茶堂前）

内容：地球市民村の茶畑で摘まれた秋冷茶の手揉み体験と試飲を行います。古くから使われているホイロを使い伝統的な手揉みによる製茶を体験できます。

（3）微量機による製茶実演

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：11:00～17:00

場所：和の茶堂

内容：地球市民村で摘んだお茶を微量機で製茶します。摘んだお茶がどのように製茶されるか体験できます。

（4）お茶応援団による呈茶サービス（予定）

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：10:30～16:00

場所：アジア茶堂

内容：全国に広がった地球市民村お茶応援団！ 今月は静岡のお茶サービスを行います。

(5) 世界のお茶の紹介と試飲（地球市民村お茶応援団と万博出展国の協力）（予定）

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：第1回 11:00～12:00

第2回 13:00～14:00

第3回 15:00～16:00

場所：アジア茶堂前特設テント

内容：中国のお茶の紹介を中心に、これまでお茶まつりで紹介した国々のお茶の紹介と実演を行います。

(6) 「茶の宴」お茶インストラクターによる日本茶の紹介

日程：9月17日（土）、9月18日（日）

時間：17:00～18:00

場所：アジア茶堂

内容：福岡の八女玉露のめずらしい「すすり茶」のご紹介と、日本茶の飲み方レクチャーを行います。

(7) 「茶の宴」アコースティックコンサート

日程：9月18日（日）

時間：14:00～14:30

場所：アジア茶堂

内容：地球市民村のお茶畑で囲まれたアジア茶堂で、お茶を飲みながらのアコースティックコンサート行います。民族楽器の調べがお茶畑を包みます。

出演：Oki Dub Ainu Band

以上